

親子でスノーケリング

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

親子を対象に、スノーケリングを通して、海辺の生き物や環境への関心を高め、家族間のふれあいを深める。

○ 実施期間

令和元年7月20日(土)～令和元年7月21日(日) 1泊2日

○ 対象者・参加者数(人数/定員)

年長児及び小学1・2年とその保護者13組27名/10組20名

○ 活動プログラム

7月20日〔土〕	7月21日〔日〕
12:45 海の駅とろむ 集合・受付	6:00 起床・洗面・清掃
12:55 海浜活動センターへ移動	7:15 朝のつどい(正面広場)
13:10 海浜活動センター着 着替え、準備	7:30 朝食(食堂食)
13:30 日程説明・活動説明	8:30 自然の家発
13:40 スノーケリングについての説明	8:45 とろむ着、海浜センターへ移動
14:00 スノーケリングマスクの洗浄	9:00 着替え・準備
14:15 マリンブーツに履き替え グローブのフィッティング	9:20 とろむへ移動
14:25 マスクのフィッティング スノーケルクリア練習 ウェットスーツ着用	9:30 スノーケリング
15:00 スノーケリング練習	11:30 活動終了 海浜活動センターへ移動 片付け・更衣
15:50 活動終了・移動・片付け	12:00 おわりのつどい とろむへ移動
16:20 とろむへバス送迎	12:15 参加者解散
17:30 自然の家 着 タベのつどい(正面広場) 夕食(食堂)	
18:30 オリエンテーション(オリ室)	
21:00 就寝	

2. 活動の様子

<1日目>

天候不順が続き開催自体が危ぶまれたが、当日は大きな天候の崩れもなく、無事開催することができた。しかし、予定していた海でのスノーケリングは波が高く中止となり、海浜センターでスノーケリングの基礎をじっくりと学ぶこととなった。実際の活動では、スノーケリングマスクの正しい使い方や保存方法について学んだり、水槽を活用し、親子で協力してスノーケルクリアの練習を行ったりした。初めは上手にできない子供もいたが、繰り返し練習をすることで、正しいスノーケルクリアの仕方を身に付けることができた。その後、水槽の中に実際に入って学んだことを活かしてスノーケリングの練習を行った。親子でバディとなり、お互いを気遣いながら楽しんで練習している姿が多く見られた。



<2日目>

2日目は、時折晴れ間ものぞく天候の元、予定通り海へ出でのスノーケリングを行った。海へ出ると、波があったり、水深が深いところがあったりして少し戸惑う子供もいたが、親からの声掛けもあり、海にも徐々に慣れていき、親子でスノーケリングを楽しむ姿が多く見られるようになった。参加者からは、ルリスズメダイやオヤビッチャなどの魚を見つけ歓声が上がっていた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ 詳しい道具の使い方から海の生物の話まで聞けて、本当に勉強になった。
- ・ 天候が不順で心配だったが、最後まで楽しく活動できた。機会があればまた参加したい。
- ・ 同年代の子供、親御さんとコミュニケーションがとれて楽しかった。大学生のボランティアの方たちにも本当に助けられた。

○ 事業の成果

- ・ スノーケリングの活動を通して、親子でふれあう機会を多くとることができた。
- ・ スノーケリングの正しい知識や基礎技能を習得することができた。
- ・ スノーケリング活動を通して、様々な海の生き物を観察することができた。

○ 事業の課題

- ・ 親子でスノーケリングでは、10組20人募集のところ、57組132人の応募があり、定員を18組まで増やして対応したが多くの落選者を出すこととなった。ニーズに応じた期間設定を含む複数開催も検討の必要があると感じた。
- ・ 天候が不順で直前になってのキャンセルが数組出た。雨天時もスノーケリングに変わる魅力あるプログラムを準備しておく必要があると感じた。